



勤怠管理の精度が格段にアップ！ 管理職と現場勤務者の意識が変わり、月の残業時間が4割減少

O社は、地場産業とともに成長を遂げてきた総合建設会社です。常に7～8現場、多い時には10現場を同時進行する中、全従業員の勤怠管理を紙ベースで行っていたため、煩雑な作業の発生や正確さに欠ける課題を抱えていました。そこで働き方改革を機に、労務管理の勉強会を開催するなどシステム化に向けた準備を進め、その後「勤CON管」を導入しました。導入の結果、勤怠の締め処理作業に費やす時間が削減されただけでなく、スタッフの意識改革にもつながったといいます。導入のいきさつと導入後の具体的な変化について、同社の総務・労務の担当者に詳しく話を伺いました。

紙ベースの勤務表では時間外労働の超過を把握できなかった

——導入前の業務課題についてお聞かせください。

導入以前は紙の勤務表を利用しており、毎月、現場ごとに従業員の勤務表をまとめて本社へFAX送信していました。そのため、1カ月分の勤務表がそろって初めて時間外労働の実態を把握できる状況だったのです。勤務表と同様に、休日出勤届や有給休暇届などもFAXで申請していたため、提出忘れが起こりやすく、事後提出となってしまうケースも少なくありませんでした。

こうした現状を踏まえ、勤怠管理をエクセルで行う方法に変更しましたが、今度は勤務表の内容をエクセルに転記する作業が発生し、結果的に作業量が増えてしまったのです。勤怠の締め処理作業を終えた後にもFAXが届いたり、現場事務所が立ち上がってすぐの時は通信環境が整備されていないため期日までに届出を送信できなかったり、担当者の押印漏れで再提出を依頼しなければならないこともしばしばありました。エクセル管理にし

たものの勤怠管理の精度を上げることは難しく、限界を感じていました。そこで、これらの課題を解決するためには、勤怠管理のシステム化が不可欠だと考えたのです。

——「勤CON管」を選んだ決め手を教えてください。

4社で比較検討した結果「勤CON管」に決めた理由は、月額料の安さと使いやすさです。導入前のデモアカウントでは、パソコンが得意な人、得意ではない人を含めたさまざまなタイプの社員に試してもらった結果、操作しやすいという声が多く上がりました。加えて、1カ月試用させてもらえたことで、実際の運用イメージをつかめたことも大きかったですね。弊社が使用しない項目を管理者側でオフにできるため、シンプルな仕様にすることも使いやすく好評でした。さらにヘルプデスクが充実しているので、不明点をすぐに解消できる点も安心材料でした。

業務の効率化に伴い勤怠管理の精度が向上し、社員の意識も変化

——導入後、どのような変化がありましたか？

最初の1カ月を試用期間とした後、3カ月ほどでシステムが社内で定着しました。導入に際してはYouTubeの解説動画がかなり参考になったため、弊社で必要な項目のみマニュアルを作成したものの、特に苦労はなかったように思います。

導入後は残業状況をリアルタイムで把握できるようになったため、締め日になってから残業時間の多さに直面することが無くなり、日々の勤怠打刻が習慣化されたことで、報告の精度が上がっていると感じます。また、システム化によってFAXや電話での督促作業が無くなったため、その分の時間を勤怠データの分析や工程表の確認などに充てられるようになったため、さらなる業務効率化につなげていきたいです。

——他にも効果を感じられている点がありますか？

所属長や管理職の時間外勤務に対する意識が向上していると感じています。なぜなら、アラーム機能により現場スタッフの残業状況が都度確認できる、つまり「見える化」が実現したためです。上長が部下の勤務状況を随時把握することで、残業を抑える要因につながり、実際に導入後の時間外勤務時間は全体で4割ほど減少しました。

意識の変化は現場スタッフにも表れています。以前は、残業届や休日出勤届の提出に関してトラブルが発生していましたが、申請フローがシステム化され申請の有無が一目瞭然でわかるようになったことで、期日までに提出するようになりました。特に平日の残業申告が定着したことで、長時間残業を減らすことにつながっています。

社員の勤務分析を深掘りして、さらなる業務改善に役立てたい

——今後の取り組みについて教えてください。

現在、有給の申告自体はシステムを活用していますが、管理は台帳で行っています。というのも、弊社の有給休暇にはいくつか種類があり、社員による適切な休暇の申告が難しいためです。たとえば、弊社では現場を終えた際に与えられる休暇を現場竣工休暇と定めており、そちらの管理にも「勤CON管」を活用していく

つもりです。社員へ新しい申請フローの周知をし、本格的な運用に向けて準備を進めていきたいと考えています。また、社員の勤務分析を深掘りして、業務改善にも役立てたいですね。弊社にとって「勤CON管」は、もはや、なくてはならない存在です。社員の使いやすさを優先事項としながら、活用の幅を広げていきたいと思っています。



Customer Profile

勤CON管

本 社 兵庫県神戸市
資本金 1～3億円
従業員 50～100名
業種
● 総合建設業

お問い合わせ先

あさかわシステムズ株式会社

インサイドセールス室

072-464-7831 / inside-sales@a-sk.co.jp

<https://www.a-sk.co.jp/kanbee/>